

地域で学び 地域とつながる 居住地校交流



図画工作科「かさぶくろケットを飛ばそう」

居住地校交流とは

特別支援学校に通う児童生徒が居住する地域の小・中学校等の児童生徒と一緒に交流や学習活動を行うことです。

特別支援学校の児童生徒にとって

自分が住んでいる地域の同年代の児童生徒と活動を共にすることで、人間関係を広げ、社会性等を学ぶ機会となります。また、地域とのつながりをもち、地域社会の中で積極的に活動していくための素地づくりとなります。

小・中学校の児童生徒にとって

地域の仲間として特別支援学校の児童生徒と関わりながら、お互いのことを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ機会となります。また、障害に対する理解を自然に深めていくことも期待できます。

共に学ぶことで、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となります。



居住地校交流の活動例

【小学校】

- 生活科（アサガオの栽培や野菜の苗植え、秋の遊び、1年生との仲良し交流会、手作りおもちゃ遊び等）
- 図画工作科（造形遊び、工作等）
- 体育科（器械運動、ボール運動、水泳、ボッチャ、モルック、ピン倒しボール等）
- 音楽科（合奏、リズム遊び等）
- 家庭科（調理実習等）
- 総合的な学習の時間（農業体験、福祉体験、天空の不夜城、命の授業等）
- 特別活動（クラブ活動、防災授業、救命救急に関する活動、校外班会議等）
- 学校行事（芸術鑑賞教室等）
- 特別支援学級との交流



クラブ活動（実験クラブ）
「炭酸水をつくろう」

【中学校】

- 保健体育科（ボッチャ等）
- 美術科（デザイン、工芸等）
- 家庭科（調理実習等）
- 総合的な学習の時間（天空の不夜城、地域の先生との交流、職場体験等）
- 特別活動（奉仕活動、球根植え等）
- 特別支援学級との交流



総合的な学習の時間
「モデルロケットを作ろう」

居住地校交流の進め方

①依頼	年度初めに、特別支援学校から各小・中学校へ、居住地校交流の依頼をします。
②打合せ日の調整	担当者（担任等）間で、打合せの日時を決めます。
③打合せ	交流日時や回数、主な学習活動等を決めます。 交流前に当日の学習内容について、配慮点等を共有します。
④交流	居住地校での直接的な交流、または、手紙やオンラインなどによる間接的な交流を行います。
⑤振り返り	手紙やオンラインなどによるやりとりを行います。



障害理解授業について

本校職員が、実施校の先生方と一緒に、障害の理解を深める授業を実施します。ぜひ、ご利用ください。

（実施例）

- ・居住地校交流を効果的に行うための事前事後学習
- ・通常の学級を対象とした障害理解を深めるための道徳科や総合的な学習等での授業
- ・保護者を対象とした障害理解に関するPTA研修会等

秋 田 県 立 能 代 支 援 学 校

〒016-0005

秋田県能代市真壁地トメキ沢135番地

電話 0185-55-0691

FAX 0185-55-0681

<https://noshiroshien.ed.jp>

E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp



